

Newsletter

—学会会報—

The Japanese Society for Curriculum Studies

発行：日本カリキュラム学会事務局

<目 次>

- ・ 代表理事挨拶、事務局移転のお知らせ
- ・ 理事会報告
- ・ 総会報告
- ・ 第 19 回大会報告
- ・ 会則および諸規程の改正について
- ・ 学会誌「カリキュラム研究」第 18 号 論文募集
- ・ 事務局からのお知らせ

—< 代表理事 挨拶 >—

【代表理事就任にあたって】

代表理事就任のご挨拶を申し上げます。

カリキュラム研究史を見ると、かつては政治的立場によって鋭く対立し、研究的な議論をすることが困難な時代がありました。研究よりも立場の違いの方が目立ち、研究を遅滞させる一因となっていました。

しかし、日本カリキュラム学会は創立以来、お互いの立場を尊重しつつ、実証的・理論的研究が展開されるなど、学会として順調な発展を遂げてきました。

それは、学会員諸氏の良識に支えられたことと、1990 年以降の世界的な時代変化が大きかったと思います。特にイデオロギー対立が影をひそめたことは、カリキュラム研究の環境を好転させましたが、その分だけ、カリキュラム研究は教育の現実に対して実質的な貢献をすることが求められるようになりました。

そのような時代に代表理事に就任することは大変な責任を感じますが、今後とも、カリキュラム学会の発展に貢献して参りたいと思いますので、ご協力をお願いします。

(東北大学 水原 克敏)

【代表理事退任にあたって】

このたび 3 年間の任期を終えて退任することになりました。この間、学会の運営に不慣れな面がありまして、皆様にはご心配をかけましたが、曲がりなりにも無事に務め終えることができました。これも各種委員会の委員長、理事の方々、そして会員諸氏のご協力の賜物と厚く感謝申し上げます。当学会は、来年、第 20 回大会を迎えることとなりますが、この成人式を経てこれからますます発展することを祈っております。私自身もこの学会のまさに「ハイティーン」の時代をともしごせたことをよき思い出にしたいと存じます。とくに大きな働きは出来ませんでしたけれども、会務の基盤整備等に努めた成果は上げられたかと存じます。今後は、水原克敏新代表理事のもと、日本カリキュラム学会が「大人の学会」に成熟していくことを楽しみにしております。末筆ながら、事務局長として会務を支えてくださった根津朋実会員に謝意を表します。誠に有難うございました。

(筑波大学 田中 統治)

——< 事務局移転のお知らせ（予告） >——

2008年度の総会報告をもって、学会事務局の移転が決まりましたが、しばらくの間は筑波大学の前事務局が引き続き業務を行います。年度内に順次、事務局機能を移転していく予定です。なお、電子メールアドレス(jscs@nifty.com)、学会ホームページのURLに変更はありません。

また、本年度、『カリキュラム研究』の投稿宛先は従来通り(第17号巻末に記載)です。

——< 理事会 報告 >——

[2008年7月4日(金)午後5時～6時40分 (於)ホテル「ファーストシーズン」会議室]

今年度第1回の定例の理事会が7月4日(金)午後5時から6時40分まで、ホテル「ファーストシーズン」会議室にて開催されました。理事18名、大会校より西村公孝会員、および事務局2名が参加しました。議事に先立ち、田中統治代表理事、大会準備委員長の村川雅弘理事・事務局長の西村会員より、それぞれ挨拶がありました。下記の議題を審議・決定しましたので、お知らせいたします。

(1) 総会議案について

2007年度活動報告・決算(案)および2008年度活動方針・予算(案)について、すべて原案通り承認された。

- ・現況概要：会員総数862名(一般717名、学生135名、団体10件。ただし、連絡先不明・会費未納による会員資格停止者計147名を含む)、新入会員43名。会費納入率71.3%(昨年度71.8%)。
- ・学会誌『カリキュラム研究』第17号発行。会報「ニューズレター」第44,45,46号発行。会報は学会HPにも掲載されている。

(2) 日本カリキュラム学会研究奨励賞(学会賞)について

審査委員会による選考の結果、該当無しとなった旨、報告がなされた。

(3) 次期大会開催校について

次年度の第20回大会は、東日本の当番である。千葉大学で開催するとの原案が承認された。大会会期・会場は11月理事会で決定する予定である。

(4) 各種委員会等報告

- ・選挙管理委員会(事務局[代理])、代表理事

理事選挙結果について：選挙人・被選挙人524名。4月14日から5月12日の期間で実施し、投票総数は144票(投票率27.5%。参考：前回27.3%)であった。今回初めて国内投票分は受取人払い(学会事務局負担)で実施した。5月17日、選挙管理委員会(委員長：林尚示会員[東京学芸大学]、堀内かおる会員[横浜国立大学]、松尾知明会員[国立教育政策研究所])による開票の結果、25名の理事候補が選出された。

次期理事への就任承諾の確認手続きを経て、25名の理事候補が確定した。なお、推薦理事(5名以下：2008.3.8理事会申し合わせによる)は、新代表理事の決定手続き後に選出される予定である。

代表理事選挙については、新理事25名による投票を経て、本理事会開催時点では未決定である旨、報告がなされた。この件は7月5日開催の新理事会に検討を委ねる。

- ・ 紀要編集委員会（磯田文雄委員長）
 - ①『カリキュラム研究』第17号が刊行された。
 - ②印刷業者を変更した。
- ・ 日本カリキュラム学会研究奨励賞審査委員会（磯田委員長）
 - ①選考の結果、「該当者なし」となった。
- ・ 国際交流委員会（中野和光委員長）
 - ①『カリキュラム研究』第17号の海外カリキュラム研究情報（タイ）の執筆者、訳者に刊行物、抜き刷り等を送付した。
 - ②次号以降の予定は未定である。
- ・ 研究委員会（山口満委員）
 - ①資料に基づき、今期3年間の活動報告が行われた。大会時のシンポジウムおよび課題研究に関するテーマ・内容の決定手続きの確認、同じくそれらの『カリキュラム研究』への概要掲載、大会時の研究発表ルールの確認、および20周年記念事業の検討状況について、それぞれ報告がなされた。20周年記念事業については、次の4事業である。（1）『現代カリキュラム事典』（ぎょうせい、2001年）の改訂版の発行。（2）カリキュラム研究の講座本（3巻程度）の発行。カリキュラム政策への提言集・発信。（3）課題研究において国際交流の部会を継続し、第20回大会に国際シンポジウムを開催する。関連して、科研費を申請する。（4）認定資格「教育課程診断士」（カリキュラム診断士）の新設。
 - ②課題研究・シンポジウムの発表原稿について、世話人及び発表者・指定討論者等に集約・配布する手続きを、ルールとして整備する必要が確認された。

（5）その他

- ・ 第20回大会について、教職大学院の状況等を含め、自由に意見交換を行った。

[2008年7月5日(土)午後12時15分～12時55分 (於)鳴門教育大学B202教室]

[(臨時)2008年7月6日(日)午前8時45分～9時25分 (於)鳴門教育大学B202教室]

新理事会が2回（定例・臨時）にわたり、鳴門教育大学B202教室で開催されました。出席理事はそれぞれ、18名・16名でした。下記の議題を審議、決定しましたので、お知らせいたします。

（1）代表理事の選出について

代表理事選挙の開票結果に基づき、水原克敏理事（東北大学）が選出され、承認された。推薦理事、事務局長、事務局体制、および各種委員会委員長については、新代表理事のもとで今後検討を続ける。また、新事務局体制が整うまでの間、事務局業務は前事務局（筑波大学）が中心で行い、年度内に順次新事務局へ引き継いでいく旨、あわせて承認された。

（2）監査の選出について

従前の方法では、監査は東西より1名ずつ、交替は一度に片方の1名となっている。今回、大倉健太郎会員（玉川大学）の任期満了に伴い、桐谷正信会員（埼玉大学）を候補として総会に諮ること、および佐藤真会員（兵庫教育大学）は留任いただくことが、それぞれ承認された。

（3）その他

次回理事会は定例では11月8日（土）の予定である。

— < 総会 報告 > —

2008年7月6日(日)、11時40分から12時10分まで、鳴門教育大学B101教室において、村川雅弘理事(鳴門教育大学)、臼井嘉一理事(国士舘大学)を議長団として、総会が開かれた。7月4日の前理事会で承認された議案が、すべて承認された。

(1) 第18回大会年度決算報告 (2007年4月1日～2008年3月31日)

収入の部	項目	予算額(円)	決算額(円)
	学会年会費	3,700,000	4,012,000
	入会金	80,000	80,000
	学会誌代・雑収入・利子等	50,000	38,133
	寄付	0	20,000
	前年度繰越金	3,810,763	3,810,763
	合計	7,640,763	7,960,896

支出の部	項目	予算額(円)	決算額(円)
	第18回大会経費	800,000	750,000
	第17号紀要刊行費	850,000	425,000
	学会研究奨励賞費	0	0
	印刷費(会報・封筒等)	200,000	109,515
	通信費	500,000	323,860
	会合費(含む交通費)	650,000	580,589
	人件費	760,000	915,975
	消耗品費(含む雑費)	100,000	18,821
	財)日本学術協力財団賛助会費	50,000	50,000
	名簿作成費	400,000	472,566
	理事選挙準備費	150,000	43,950
	各種委員会経費		
	・紀要編集委員会	300,000	206,739
	・広報委員会	50,000	0
	・国際交流委員会	100,000	16,085
	・研究委員会	50,000	0
	・学会研究奨励賞審査委員会	150,000	2,880
	(小計)	650,000	225,704
	予備費	300,000	0
	次年度繰越金	2,230,763	4,044,916
合計	7,640,763	7,960,896	

(2) 第19回大会年度(2008年度)活動方針について

1) 一般方針

- 1) 年次大会の実施
- 2) 第20回大会の準備
- 3) 学会誌『カリキュラム研究』第18号発行
- 4) 学会研究奨励賞
- 5) 会報、その他の広報活動
- 6) 会員勧誘、会費納入促進活動
- 7) その他

追って会報等で会員に周知を図る予定である。

(4) その他

田中前代表理事より、代表理事と事務局とを一体で運営してきた従来の方法を見直し、一部外注化（アウトソーシング）を含め、事務局業務の軽減について検討を行う必要がある旨、提案があった。会員より、従前の例を参考にしつつ、慎重に進めるよう希望する意見があった。本件は承認された。

推薦による新理事、新事務局局長等については、本来は今回の総会で報告し承認を得る必要があるが、代表理事選出にともなう時間的都合によりそれができないので、今回は理事会で審議・決定した後、会員の方には適宜事後承認をお願いしなければならないことになった。そのことについてこの総会で了解していただきたい旨、小泉理事より提案があった。本件は承認された。

——< 第19回大会報告 >——

日本カリキュラム学会第19回大会を7月5日～6日、鳴門教育大学において開催させていただきました。大会参加者は約250名（公開シンポ参加者含む）、自由研究発表は47件と地方開催としては多くの方のご参加ご発表をいただきました。どの会場も活気に溢れ、充実した大会となりました。初日朝方は雷雨に見舞われましたが、それが歓迎の太鼓や花火となり、その後は好天に恵まれました。また、大学近辺のリゾートホテルでの懇親会には約100名が参加し、最後まで海の幸・山の幸と飲み物を堪能していただきました。

課題研究は、Ⅰ「学習指導要領の基準性を問い直す(2)ー教育課程に関する国家基準の国際比較ー」、Ⅱ「カリキュラム研究におけるヒドゥン・カリキュラムの位相(2)ー教育実践研究への応用を切り口にー」、Ⅲ「『全国学力・学習状況調査』(2007)の結果をどう読み解くかー調査結果をふまえ、カリキュラム改善や授業づくりにどう活かすかー」、Ⅳ「国境を越えたカリキュラムの収斂と多様化ー市民性教育を中心にー」のテーマで実施しました。Ⅰ及びⅡは昨年度から継続されたテーマであり、Ⅲは昨年度の公開シンポジウムにおける課題を踏まえたものであり、年度を越えて本学会における重要課題を継続的・発展的に追究することの大切さを実感したものとなりました。

公開シンポジウムは「新学習指導要領をどう読み解き、実践に結びつけるか」と次期学習指導要領告示の年にふさわしい興味深いテーマの下、学習指導要領を作成した立場から、歴史的な経緯からその特徴を分析した立場から、学校現場においてその実施を指導する立場から、新学習指導要領の趣旨をいかに理解し、学校現場で実践していくのかについて充実した協議が展開されました。

次期学習指導要領が告示され、教育改革が大きく動こうとする大事な時に大会を鳴門教育大学で引き受けさせていただき、大変光栄に感じております。7名の学会員と今年度から創設された教職大学院の院生が中心となり、準備・運営を進めて万全の体制で臨みましたが、至らなかったこともあったかもしれません。しかし、参加された皆さまの笑顔や励ましに支えられ無事終えられたこと感謝しております。本当にありがとうございました。

(鳴門教育大学 村川雅弘)

——< 新役員 >——

任期：2008年7月第19回大会（鳴門教育大学）より、2011年第21回大会総会まで

代表理事：水原克敏（東北大学）

選挙による理事（25名）：（五十音順、敬称略）

- | | |
|-------------------|--------------------|
| ※浅沼 茂（東京学芸大学） | ※田中統治（筑波大学） |
| 天笠 茂（千葉大学） | ※豊田ひさき（中部大学） |
| ※新井郁男（上越教育大学名誉教授） | ※中留武昭（鹿児島県立短期大学） |
| ※池野範男（広島大学） | ※中野和光（美作大学） |
| ※磯田文雄（文部科学省） | 根津朋実（筑波大学） |
| ※市川 博（帝京大学） | ※橋本美保（東京学芸大学） |
| ※臼井嘉一（国土舘大学） | ※松下佳代（京都大学） |
| ※加藤幸次（名古屋女子大学） | ※的場正美（名古屋大学） |
| 工藤文三（国立教育政策研究所） | 水原克敏（東北大学） |
| ※小泉祥一（東北大学） | ※村川雅弘（鳴門教育大学） |
| 子安 潤（愛知教育大学） | ※八尾坂修（九州大学） |
| ※佐藤 学（東京大学） | ※山口 満（びわこ成蹊スポーツ大学） |
| 田中耕治（京都大学） | |

※は前理事からの留任を示す。

監査：佐藤真（兵庫教育大学）【留任】、桐谷正信（埼玉大学）

※推薦による理事、事務局長につきましては、11月の理事会後に発行する次号会報でお知らせします。

——< 学会誌第18号 論文原稿募集 >——

学会誌『カリキュラム研究』第18号（2009年3月発行予定）の論文原稿を募集しています。論文投稿の締め切りは本年9月末日（当日消印有効）、投稿原稿の送付先は以下の通りです。第17号巻末の【投稿要領】等を熟読の上、奮ってご投稿ください。また、投稿にあたり、年会費の完納をお願いします。

※投稿原稿の宛先は以下の通りです。

〒305 - 8572

茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学教育学系内

日本カリキュラム学会 事務局

「カリキュラム研究」編集委員会 宛

——< 事務局からのお知らせ >——

(1) 平成 20 年度分 会費納入のお願い

おかげさまで大会も無事終了し、年度の半ばとなりました。今年度分の年会費の納入をお願いします。本学会の誇りの一つである高い納入率を維持するためにも、納入促進に会員みなさまのご協力をよろしくお願い申し上げます。年会費を滞納しますと、学会誌が送付されなくなり、大会での発表資格・学会誌への投稿資格を失いますので、ご注意ください。

本年度までの会費未納の方は、宛名ラベルのお名前の下に、未納年度を記載しております。前号で同封しました払込票をご利用になり、できるだけ早く納入してください。払込票は、年2回（春：3月号、冬：12月号）の会報に同封しています。なお、事務処理上、納入時期とラベル記載情報との間に、若干の行き違いが生じる可能性があります。その際は何とぞご容赦ください。

また、単年度に複数回振り込まれた場合、事務局では次年度会費として繰り越しております。会費納入状況につき、ご不明の点がございましたら、ささいな点でも結構ですので、ご遠慮なく事務局までお問い合わせください。

(年会費：一般 6,000 円、学生 3,000 円、団体 10,000 円)

(2) 事務局移転について

筑波大学教育学系内に設置しておりました事務局は、現在移転の準備を進めています。新事務局体制の整備が完了するまでは、引き続き下記で事務局業務を行っています。事務局機能の完全移転は、2009年3月末までに完了する予定です。

〒305 - 8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1

筑波大学教育学系内

日本カリキュラム学会 事務局

FAX 029-853-6724

振替口座番号：00880 - 0 - 69090

E - mail : jscs@nifty.com

学会 URL : <http://homepage3.nifty.com/jscs/>